

令和元年度はなていアクション 審査結果一覧

提案者	事業名	事業概要・目的 採択提案については提案概要	事業担当課	審査結果	審査会意見	実施に向けての留意事項 (継続協議案件は協議事項)
桜の園の会	野外活動広場 (桜の園)管理 運営	市民が自然に親しみながら、キャンプやピクニック等の野外活動が行える交流広場の運営及び維持管理を行う。 【提案概要】 ・自然観察会・自然教室の開催(月1回程度) ・ローリータンク500Lを新設 ・将来的に冬季の宿泊キャンプ実施に向けた調査を行う	生涯学習推進室	採用	○通常の維持管理に加え、自然教室等を実施するという点に関しては、評価できる。 ○施設の老朽化に伴い、将来的に必要となるコスト等の対応について、不明な点が多い。 ○市民団体の連携については、事業実現に有効であると考えられるが、提案では、具体的な連携の仕組みが示されていない。また、施設の老朽対策等の実現性が不明確である。	○提案者は、複数団体が協働してボランティアで行う事業であることから、事前に団体間での責任や連携の仕組みを明確にしたうえで、確実に提案内容が実施できるよう十分な準備を行うこと。 ○市及び提案者は、廃止予定の事業を継続することになるという点に鑑み、大規模改修等の扱いについて、事前に取り決めを行うこと。
阪南シニア ベンチャークラブ	防災コミュニ ティセンター管 理費	災害時における市民の生命の確保並びに市のコントロールタワーとして、本庁舎の機能を補完するとともに、平時における市民の防災意識の向上を図るための講座、訓練等の場並びに市民が健康に暮らすことができるコミュニティ活動の場として管理運営を行う。 【提案概要】 ・防災施設に、専門知識を有する元消防職員を平時に配置することにより、防災講座等の事業の実施などに加えて、防災関連のコミュニティとしての情報伝達や利用者同士の情報交換が行える。 ・元消防職員を配置し、水消火器の消火訓練や救急救命講習の実施を行う。	危機管理課	採用	○提案の職員配置については、専門性を活かした質の高いサービスが提供できるものとする。 ○地域を巻き込んだ具体的な取組みの可能性があるが、現時点ではその具体的提案が示されていない。 ○防災コミュニティセンターの本来の機能を、多様なつながりをもって作っていく必要がある。	○市及び提案者は、事業受託までに子ども向けの防災教育や、防災啓発をどのように行っていくのかといった具体的な事業内容について、取り決めを行い実施すること。
阪南市シルバー 人材センター	有害鳥獣対策 事業費	農作物への食害や、家屋進入等による生活汚染の被害を防止するため、アライグマの捕獲檻を貸出しし、捕獲された有害鳥獣について、措置を行う。 【提案概要】 ・捕獲檻に入った有害鳥獣を捕獲場所まで回収に行き、措置施設、火葬場へ引き渡す	農林水産課	採用	○アライグマが田畑以外の住宅地にも生息しているということに鑑みると、捕獲場所までの引き取りサービスの付加は、捕獲者(市民)の安心・安全に効果的である。 ○今後、アライグマの増加を抑制するために、積極的な捕獲が必要と考える。	○アライグマの引き取りにかかる個人情報の共有については、市においてサービス利用者に事前に十分な説明を行うとともに、提案者においては適正に扱うこと。

提案者	事業名	事業概要・目的 採択提案については提案概要	事業担当課	審査結果	審査会意見	実施に向けての留意事項 (継続協議案件は協議事項)
社会福祉法人	自立相談支援事業 民生委員協議会補助金	(自立相談支援事業) 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、生活困窮者に対する認定生活困窮者就労訓練事業の利用あっせん等、様々な支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る。 (民生委員協議会補助金) 民生委員協議会事務局として、民生委員活動の推進を図る。	生活支援課	継続協議	○自立相談支援事業では、生活保護事業等の市業務との連携がしっかり続くような人員体制や組織体制の構築が必要である。 ○民生委員協議会にかかる事務局機能については、自立支援事業との連携が示されているが、内部統制・情報管理体制の確保が必要である。	○自立相談支援事業を十分にできる人員体制や他の市の業務との連携方策を具体的に示してください。 ○民生委員協議会事務局として、内部統制・情報管理の方法や体制について具体的に示してください。
NPO法人	学習支援事業	生活保護受給世帯及び生活困窮者世帯のうち、中学生の生徒に対し学習機会と地域における居場所を提供し、生徒の高校進学を促進させ世帯の自立をめざすことを目的に居場所の提供を行いながら、学習教室による学習支援を行う。	生活支援課	不採用	○学習支援の支援員の選択は独自性があり、子どもたちに寄り添うことができる可能性は高いと考える。 ○学習支援事業実施にかかる具体的な手法、サービスの質・量の両面で不明な点があり、実現性に課題がある。 ○事業提案のとおり円滑に進めるためには、設備の貸与等、施設面について課題がある。	
企業	学習支援事業	生活保護受給世帯及び生活困窮者世帯のうち、中学生の生徒に対し学習機会と地域における居場所を提供し、生徒の高校進学を促進させ世帯の自立をめざすことを目的に居場所の提供を行いながら、学習教室による学習支援を行う。	生活支援課	不採用	○学習支援事業の基本的事項を備えた事業提案であるが、地域の雇用や阪南市ならでの課題解決、社会貢献をめざすといった市民への配慮に関する視点が少ない。	
企業	一般廃棄物収集事業 清掃庁舎維持管理経費	一般家庭から排出された(可燃ごみ、資源ごみ等)を収集運搬し、市民・事業者・行政の協力のもと、適正な処理を推進し地球環境の保全など資源循環型社会の形成に努める。	資源対策課	不採用	○ある程度具体的な提案内容であるが、サービスの質・量のバランス確保や資機材、人材の調達など市民の利益を向上させつつ、遅滞なく実施できるかという点については、疑問がある。 ○現在の提案では、市の負担が増加する懸念もある。	

提案者	事業名	事業概要・目的 採択提案については提案概要	事業担当課	審査結果	審査会意見	実施に向けての留意事項 (継続協議案件は協議事項)
NPO法人	人権啓発推進事業	ヒューマンライツセミナーや人権を考える市民の集い等の啓発講座の開催、広報誌等への啓発記事掲載、街頭啓発等により、市民の人権意識の確立と高揚を図り、全ての人の人権が尊重され、安心して暮らすことのできる人権尊重のまちづくりを推進する。	人権推進課	不採用	<p>○NPOによる提案は、市民活動が活発化して人権啓発が刷新される可能性はあるが、2回実施の場合、啓発の内容が団体の得意分野に偏ることが考えられる。</p> <p>○現時点で、セミナーの実施方法や実施内容の具体案が示されていない。</p> <p>○事業実施にかかる提案者と担当課の調整事項の増加が考えられ、担当課の人件費の増加の懸念がある。</p> <p>【市に対する意見】</p> <p>○市が実施している現状の啓発事業については、改善点が多くあると考える。事業内容をよりよく改善していくために、団体の得意分野による提案の講座を1講座実施することは、今後の人権啓発事業の改善により効果が高いものと考えられるため、次年度以降の提案で、柔軟に検討いただきたい。</p>	
公益社団法人	農業用施設維持補修費	現在、農業施設として管理している鳥取中地区の市有地の除草等、維持管理を行う。	農林水産課	不採用	<p>○現状の年間2回の除草作業に比べ、効果的な提案である。</p> <p>○提案内容では、近隣地権者との調整がされておらず、事業の実現性について、課題がある。</p> <p>【市に対する意見】</p> <p>○仕様における工夫で、草刈り回数を増加させることが効果的ではないか。</p>	
公益社団法人	広報板修理費	市内に約100基設置している広報板の修理等維持管理を行う。	秘書広報課	不採用	<p>○独自のアイデア・工夫・サービス向上の具体性が見えにくい。</p>	
NPO法人	市民活動支援事業	市民活動センターにおいて、社会活動、市民活動に参加したいと思っている方に市民活動に関わる環境を作り、出会いの機会の提供や市民活動の知識を学ぶ機会を提供することにより、担い手育成につなげる。	地域まちづくり支援課 人事課 危機管理課	不採用	<p>○新たな提案が含まれているが、提案内容は、相談業務の補助機能としては効果があるものの、阪南市の市民活動の現状では、有効な手段ではないと考える。特に、市民活動団体や地域団体と直接向き合うことがより効果的ではないか。</p> <p>○阪南市の市民活動を促進するとともに、市民の公益活動や行政との協働に関する市民意識の向上を図るため、より一層具体的な提案が求められる。</p>	
社会福祉法人	市民活動支援事業費 尾崎公民館管理費 尾崎公民館運営費	<p>(市民活動支援事業費)</p> <p>市民活動センターにおいて、社会活動、市民活動に参加したいと思っている方に市民活動に関わる環境を作り、出会いの機会の提供や市民活動の知識を学ぶ機会を提供することにより、担い手育成につなげる。</p> <p>(尾崎公民館管理費、尾崎公民館運営費)</p> <p>市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>	地域まちづくり支援課 尾崎公民館	不採用	<p>○提案は効率的、かつ利用者の利便性を踏まえた提案である。</p> <p>○提案内容において、提案者の社会教育活動や市民活動支援の具体的な事業内容や今後の展開が見えづらく、実現性に課題がある。</p> <p>【市に対する意見】</p> <p>○尾崎公民館の管理運営については、その施設のあり方について市民を巻き込んだ議論が公民館運営審議会等で続いているが、市においては、より効率的な運営できるような配慮を含め柔軟に検討を進められたい。</p>	